

スカラネット設問		入力内容記入欄
・国籍 国籍が「日本国籍以外」の場合、在留資格を選択してください。 外国籍の人は「給付奨学金案内」、「貸与奨学金案内」のとおり在留資格に制限があります。必ず在留資格を確認してください。		☐ 日本国籍 ☐ 日本国籍以外
スカラネット入力下書き用紙p.3 抜粋 STEP 3 ②奨学金申込情報に 給付・貸与の申し込み希望を記入してください。 ※本用紙は出願後返却します。 この用紙のとおりにスカラネットへ入力してください。 ※スカラネットへ入力された情報を正とします。 入力に誤りがあった場合でも、スカラネットに入力した内容が 最終の申込内容となります。正確に入力してください。		
◆給付奨学金 あなたが希望する情報 ◆第一種奨学金 あなたが第一種奨学金（要返還。無利子）と給付奨学金又は授業料等減免の支援を併用で受ける場合は、政令等の規定に基づき、給付奨学金の支給月額及び授業料の減免額に応じて、第一種奨学金の貸与月額が調整（減額または増額）される場合があります。調整の結果、借入金額が増額となる場合は、別途届出が必要になります。また、調整後の貸与月額につき選択が可能な場合は、機構の定めるところにしたがい調整前の貸与月額と同額以下の貸与月額に調整されます。		
希望する奨学金		スカラネット画面表示
STEP3 ②奨学金申込情報 1. 高等教育の修学支援新制度（給付奨学金及び授業料等減免）を希望しますか。 ☐ 希望します ☐ 希望しません ※家計急変採用に申し込む人は、「希望しません」に変更できません。 2. 貸与奨学金（月額：第一種奨学金（無利子）、第二種奨学金（有利子））の新規申込みを希望しますか（現在、貸与奨学金を受けている場合、(c)の(8)～(14)を選択する方以外は「希望しません」を選択してください）。 ☐ 希望します ☐ 希望しません （重要） 給付奨学金又は高等教育の修学支援新制度による授業料減免を受けている人が併せて第一種奨学金の貸与を受ける場合、給付奨学金の支援区分等に応じて第一種奨学金の貸与月額が調整されます。この場合、貸与奨学金の申込時に選択した貸与月額及び貸与中の月額から減額又は増額（併給調整といいます）されることがあるので注意してください。 ←貸与を希望する人はどれか1つ選択 あなたの希望する貸与奨学金を1つ選択してください。 あとで変更することはできません。「貸与奨学金案内」をよく確認し、希望する1つを選択してください。 緊急採用・応急採用に申し込む人は(1)(3)(4)(10)(11)の中から希望するものを1つ選択してください。 高等専門学校の1、2、3年生は、第二種奨学金の申込みはできません。		←給付の希望 ←貸与の希望
(a) 第一種奨学金又は第二種奨学金のどちらかを希望する人のみ入力してください。 ☐ (1) 第一種奨学金のみ希望します。 ☐ (2) 第一種奨学金を希望するが、不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ☐ (3) 第二種奨学金のみ希望します。 (b) 併用貸与を希望する人のみ入力してください。 ☐ (4) 第一種奨学金及び第二種奨学金との併用貸与のみを希望します。 ☐ (5) 併用貸与を希望するが、不採用の場合、第一種奨学金のみ希望します。 ☐ (6) 併用貸与と不採用及び第一種奨学金不採用の場合、第二種奨学金を希望します。 ☐ (7) 併用貸与と不採用の場合、第二種奨学金のみ希望します。 (c) 現在奨学金の貸与を受けている人のみ入力してください。 ☐ (8) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、第一種奨学金への変更を希望します。 ☐ (9) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、第二種奨学金への変更を希望します。 ☐ (10) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ☐ (11) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 ☐ (13) 第一種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 併用貸与と不採用の場合、第二種奨学金への変更を希望します。 ☐ (14) 第二種奨学金の貸与を受けていますが、併用貸与への変更を希望します。 併用貸与と不採用の場合、第一種奨学金への変更を希望します。 ※ (12) は欠番です。 上記、(8) (9) (10) (11) (13) (14) を選択した人は奨学生番号を記入してください。		奨学生番号 0